

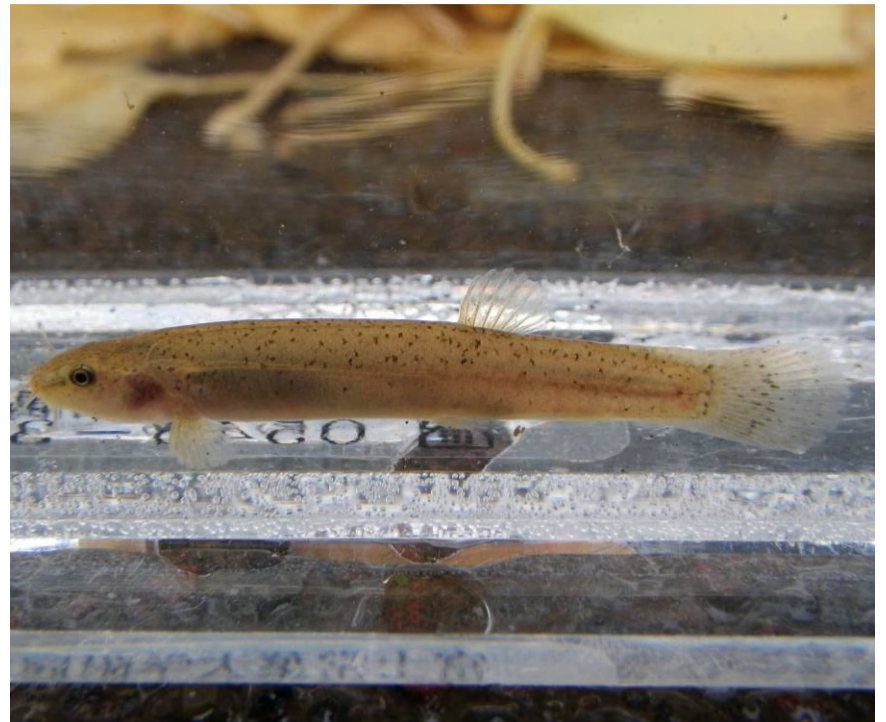
ホトケドジョウ

湧水や山ぎわから染み出し水が集まる緩やかで、川底が砂や泥がたまっている小川に生息しています。川底や泥などには潜らず、水生植物の間を緩やかに遊泳します。

体色は黄褐色で背中には斑点があり、ドジョウの口ひげが 10 本なのに対し、ホトケドジョウは 8 本です。

食べ物は、水生昆虫や藻類です。産卵は 4～6 月に行い、水生植物などに卵を産み付けます。

開発などによる生息地の減少や悪化などが原因で、全国的にも減少しています。「まもりたい静岡県の野生生物—県版レッドデータブック—動物編 2004」で、静岡県の東部地域に生息する本種は、絶滅危惧 I A 類という野生での絶滅の危機に最も瀕している種に指定されています。



富士市での現状

山ぎわから湧水が出ているところと、その周辺の水路の一部で確認できましたが、個体数が少なく絶滅が心配されます。

ホトケドジョウを確認したメッシュ

